

教科名	科目名	履修学年	履修区分	単位数
芸術	音楽Ⅰ	1年 一般コース	必修	2

目 標	音楽の美しさ、楽しみを理解させ、音楽性をのばすとともに、基礎的な合唱法、演奏法を身につけ、音楽表現の幅を広げる。また、多様な音楽に興味を持たせ、幅広い鑑賞の能力を養う。
教科書	音楽Ⅰ Tutti (教育出版)
副教材	高校生のための音楽研究ノート (教育芸術社)
授業形態	音楽理論は講義形式、その他に実技を行う。
評価規準	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽典の知識を正しく持ち、音楽を理論的に理解している。</li> <li>・コードを感覚的だけでなく、理論的に説明できている。</li> <li>・曲や教材に対して正しい認識を持つことができている。</li> <li>・楽典を理解し、演奏に反映させることができている</li> <li>・ギターの構造を理解し、基本的な奏法を身につけ演奏できている。</li> <li>・曲の詩情や内容を感じ取り、歌唱に反映させることができている。</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の持つ臨場感を理解し表現することができている</li> <li>・和声の流れ、歌詞の意味を理解し表現することができている。</li> <li>・鑑賞や演奏発表を通じ、音楽を聴いて正しい認識や感想を持ってている。</li> <li>・楽典の知識を用いて、楽曲を創作できている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に声を出し、周りの生徒と協調し、器楽アンサンブルや合唱に取り組もうとしている。</li> <li>・苦手な事にも意欲的に取り組み、実技テストや作品発表でも主体的に表現しようとしている。</li> <li>・作品の内容を理解し、言語化できる。</li> </ul>
評価方法	実技テスト、単元テスト、作品発表を中心に授業への主体的な取り組み等を考慮し、総合的に判断して評価を行う。
学習上の留意点	「授業に積極的に参加する」というのが大前提です。今までの音楽経験には個人差があります。しかし、いかに良い声を持っていても、そのままでは自分の声を生かすことはできません。積極的に声を出すことで初めて、周りにその声が聞こえるのです。音楽は始めに「音」有りきです。積極的に自分をアピールし、授業に参加しましょう。

授業計画及び試験計画[芸術（音楽Ⅰ）：1年 一般コース]

内 容	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
”校歌” 発声練習・合唱 リコーダー	■	■	■																																	
”楽典1” 音符・音部記号・階名書き				■	■	■	■	■	■	■	■	■																								
”合唱曲” 発声練習・合唱							■	■	■																											
“メヌエット1” リコーダー							■	■	■																											
”楽典2” 階名・変化記号										■	■	■																								
“リズム” 楽典・創作				■	■	■	■	■	■																											
“鑑賞”										■	■	■																								
“合唱曲” 発声練習・合唱													■	■	■																					
“リコーダー曲” リコーダー アンサンブル													■	■	■	■	■	■																		
“合唱祭” クラス別合唱																■	■	■	■	■	■															
“ハーモニー” 楽典・創作													■	■	■	■	■	■																		
“楽典3” 階名・音符種類																■	■	■	■	■	■															
“エチュード” ギター基本奏法													■	■	■	■	■	■																		
“夢の中へ” ギター・コード奏法																■	■	■	■	■	■															
“鑑賞”																						■	■	■												
“アンサンブル曲” リコーダーとギター伴奏																												■	■	■	■	■	■	■	■	■
“楽曲作成” 楽典・創作																												■	■	■	■	■	■	■	■	■
“楽典4” 音程・総合																																		■	■	■
”鑑賞”																																		■	■	■
凡 例																																				
 授業計画																																				